

## 5. まとめ

性能設計型規準に関する既往の研究および CALTRANS における取り組みを紹介した。本報告書で紹介した以外にも、英国、米国の建築分野において性能設計化が進んでいる。また、国内においても鋼構造協会において性能照査型設計に関する委員会が活動中であり、平成 14 年度中に報告書が出版される予定である。さらに、カナダの道路橋設計基準(Canadian Highway Bridge Design Code)が 2001 年に改訂されており、Objective Based Design Code を目指したものとされている。これは、現時点での技術レベルでは性能(performance)を明確に定義し予測・算定することは困難であるため、代わりに各規準の項目が何を目的(Objective)としたかを明確にし、それに基づいて規準を構築したものと解釈できる。具体的な性能照査型規準実現の困難さを考えると、今後の一つの方向性を示しているものと思われる。